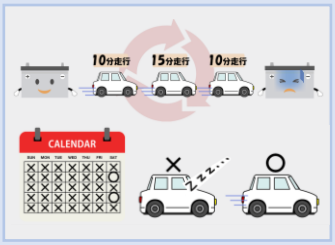
バッテリーあがりを防ぐために

バッテリーあがりにつながりやすい使用シーン

※本内容は
HPにも記載しております

あてはまるシーンがないか、ご確認ください



**走行時間が短い、
または
低頻度での使用**

長期間使用しない

**エンジンを切った状態で
停車中に
電装品を継続的に使用**

バッテリーあがりを防ぐためには…

■定期的に運転をしましょう

・低頻度・短時間走行は、バッテリーあがりが発生しやすくなりますので、
2週間に合計30分、特に冬は2週間に合計80分を目安に運転してください。

■走行中やエンジンを切った状態での停車中に、電装品（照明類・オーディオ類・アクセサリー電源(AC100V電源)・ドライブレコーダー駐車時録画等）の継続利用を控えましょう

・ドライブレコーダーの駐車時常時録画モードでのご使用において、
録画時間が長いとバッテリーあがりが発生しやすくなりますので、ご注意ください。

■バッテリーの点検・交換をしましょう

・バッテリーの寿命の目安は２～３年です。
使用環境や年数に応じて充電能力が低下して寿命が短くなるため、販売店にてバッテリーを点検しましょう。
充電量が少ない状態でのバッテリーのご使用は、バッテリーを充電しても回復しにくくなり寿命が短くなります。

＊スマホ画面イメージ

参考情報

バッテリーあがり事前通知サービスについて

一部電動車（BEV車やハイブリッド車等）を対象に、**eケアサービス**（ヘルスチェックレポート）にて
MyTOYOTA+/MyLEXUSのアプリで、補機バッテリー充電量低下状態の通知＊を確認できます。
※対象のお客様は、アプリの「メンテナンス」に、補機バッテリー充電量低下項目の表示があります。

※eケアサービスの詳細はこちら